



## JALは、1月30日「世界自然遺産・知床の日」のPRに協力します

2017年1月26日

JALは北海道との包括連携協定※における「北海道の『環境』保全に関する事項」に基づき、2016年3月に制定され、今年初めて迎える1月30日の「世界自然遺産・知床の日」のPRに協力します。

※プレスリリース「JAL x 北海道 包括連携協定を締結」(2015年12月5日)

URL: <http://press.jal.co.jp/ja/release/201512/002512.html>

北海道では、知床の世界自然遺産登録10周年を契機に、知床の価値をあらためて見つめ直し、自然がもたらす貴重な財産を将来の世代に引き継いでいくことを目的とし、2016年3月に北海道知床世界自然遺産条例が可決され、併せて、世界自然遺産に登録された年の流水接岸初日にちなみ、毎年1月30日を「世界自然遺産・知床の日」が制定されました。知床は、北半球において流水が接岸する南限であり、流水の影響を受けた「海」と「陸」の生態系の豊かなつながりが世界的に高く評価されております。

JALは、「世界自然遺産・知床の日」をより多くの方に知っていただくため、玄関口となる女満別空港でのPR活動や機内アナウンスなどを実施します。

JALは今後も飛行機が自然環境に与える負荷を極小化すべく、さまざまな環境保護活動に積極的に取り組んでまいります。

### 主な取り組み

- ・2017年1月28日(土)～30日(月)  
女満別空港到着全便にて「知床の日」をPRする機内アナウンスを実施  
※フライト状況により、実施できない可能性もございます
- ・北海道各空港JALチェックインカウンター付近にて、チラシ・のぼりなどの設置
- ・女満別空港にて、アナウンスを実施
- ・女満別空港チェックインカウンター、ゲートでの特別装飾

以上



< カウンターの特別装飾 >



< ゲート のぼりを掲示 >